ID注1)	101203	公開ﾚﾍﾞﾙ注1)	B	保管形式注1)	電子	保管場所注1)		前回ID	

報告書名称/調査名称	平成22 年度　白神山地世界遺産地域モニタリング調査等の分析　／　実態把握調査	発行年月/報告年月	2011年　3月
		資料形式注2)	報告書

調査機関	東北森林管理局	委託機関	株式会社森林テクニクス　青森支店
調査開始年	1995年	調査期間	1995年　～　2010年
調査頻度注2)	毎年　1　回	調査時期注2)	―　―　―
ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ計画	2012年3月　策定	区分注2)	Ⅲ
大区分注2)	1	小区分注2)	(2)　(3)

調査箇所・範囲注3)

☑ 核心地域　☑ 緩衝地域　☐ 周辺地域

☐ GPS等の位置データあり

※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。

目的・調査手法

■調査手法

東北森林管理局の各組織に提出された、登山以外を目的とした入山に必要な入林許可申請、及び登山を目的とした入山に必要な入山届出についての件数、及び人数を整理した。

結果概要（スペースに収まるように入力してください）

Ⅰ．入山者数の推移

前回調査時（平成１３年度 ）の世界遺産地域への入山者数は、国有林への許可・届出数で見てみると、８４６人（件数：１３０件）と、平成7度から２２年度の期間のなかで、最も多い入山者数を記録している。しかしながら、その後入山者数（許可・届出数）は、年々減少し、一昨年度（平成２０年度）には１９６人と、平成１３年度の２３％まで減少している。昨年度は４４０人と、一旦増加したものの、今年度は２３９人と再び減少し、平成１３年度の２３％まで減少している。

このように、一時の世界遺産指定に伴う観光ブームは、やや落ち着いた感はあるが、依然として、指定直後の入山者数に比べ、多い水準で推移している。

Ⅱ．踏圧による土壌の変化に対する今後の影響予測

歩道表面の土壌硬度調査によって、指定ルート7、指定ルート２３、指定ルート２４では明らかに地表面の支持強度が増大していた。この3ルートは、聞き取り等によっても利用頻度が高いルートであると、平成２２年度報告書に明記されている。この土壌の硬度調査については、前回調査の調査地点が確認できずにその付近で調査したといった問題点等もあるものの、概ね利用者の多い歩道において、地上面硬度が増加しつつあることが裏付けられる結果となった。

反対に、利用頻度がそれ程でもないルートにおいては、支持強度が低下した、もしくは変化がなかったという結果となった。現時点では、定量的に利用者数との関係を明らかにするまでには至っていないが、踏み固められる過程と踏み固められた土壌が自然状態の中でまた柔らかくなっていく過程とが、どこかで均衡を保つレベルが存在するものと考えられる。

Ⅲ．里山植生の侵入状況に対する今後の影響予測

白神山地は人の手がほとんど加えられていないブナの原生林からなる山地で、重要な生態学的、生物学的プロセスを示す顕著な見本であるとして、世界遺産地域に指定されている。したがって、近年になって急増している入山者等による、人為的な植生等の攪乱については、慎重にその推移を把握する必要がある。

その指標としてオオバコを用い、その分布域の把握に努めてきているわけであるが、平成13 年度と平成21、22 年度の２回の調査からは、大きな変化がみられなかった。

問い合わせ

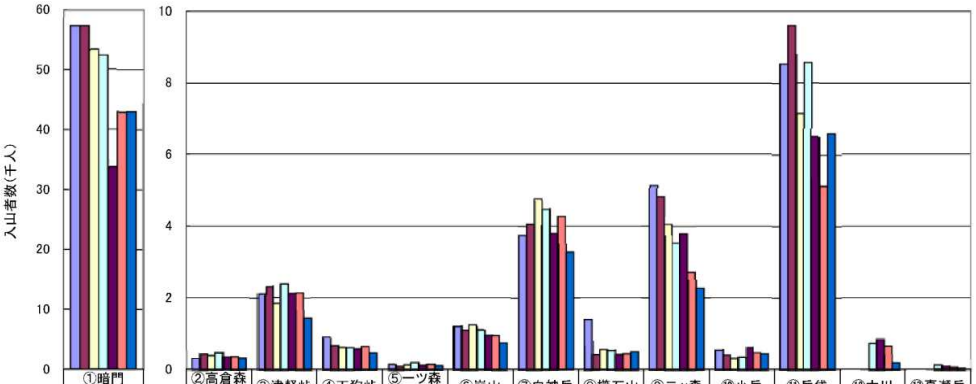
農林水産省 林野庁 東北森林管理局
〒０１０-８５５０　秋田県秋田市中通5丁目9番16号
TEL:０１８－８３６－２０１４

≪原本（データ）の帰属について≫

注1）「ＩＤ」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。
注2）ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
注3）該当する項目の□をクリックし、チェックを入れる。

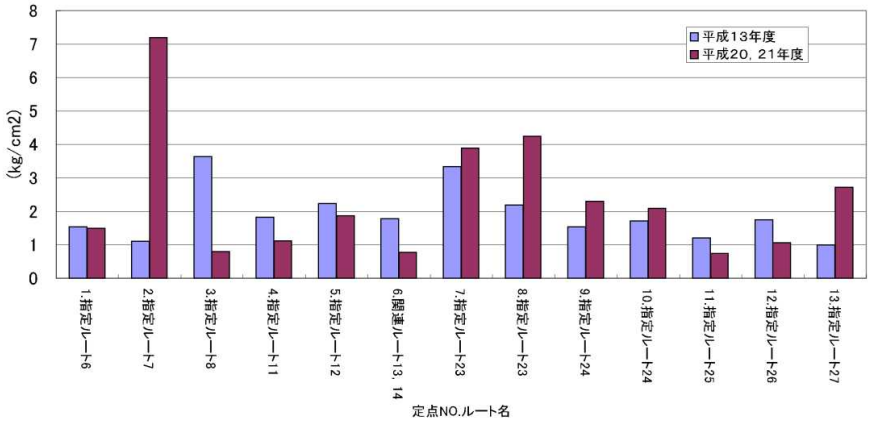
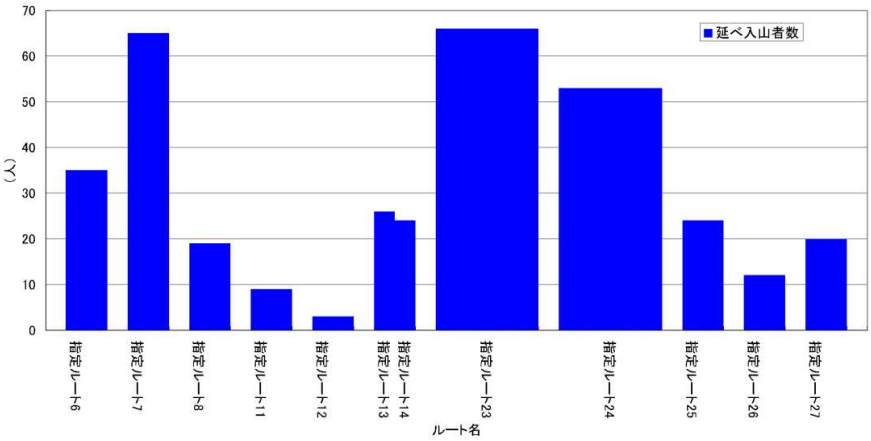
備　考

図Ｂ３　東北地方環境事務所　白神山地遺産地域及び周辺地域の入山者数の６年間の推移



	①暗門の滝	②高倉森入口	③津軽峠	④天狗峠	⑤一ツ森峠	⑥崩山	⑦白神岳	⑧櫛石山	⑨二ッ森	⑩小岳	⑪岳岱	⑫大川	⑬真瀬岳
H16	57,355	309	2,125	919	135	1,208	3,750	1,384	5,133	544	8,545		
H17	57,369	439	2,322	665	90	1,092	4,056	423	4,831	406	9,614		
H18	53,360	396	1,839	616	142	1,253	4,766	557	4,053	320	7,138		
H19	52,323	469	2,383	619	198	1,105	4,476	540	3,532	339	8,566	721	122
H20	33,769	347	2,128	588	119	969	3,798	414	3,800	619	6,496	847	88
H21	42,914	363	2,147	646	157	945	4,273	441	2,710	462	5,133	665	54
H22	43,028	325	1,425	469	122	743	3,280	503	2,269	434	6,598	192	28

図Ｂ６　土壌硬度　支持硬度



平成２０～２２年度　平均延べ入山者数